



## 生涯を、スポーツとともに生きる スポーツ科学部 スポーツ科学科 2020年4月開設



### スポーツ科学部の誕生

学長 大森 一宏

来年の4月には、駿河台大学にスポーツ科学部が誕生します。スポーツでの学びを通じて、健康で文化的な生きがいのある社会を構築することに貢献できる人材を育成することが目的です。科学的な理論と現場での実践的な体験を融合させた、新しい学びの場を提供する予定です。

実際スポーツには、競技者として、あるいは観客として楽しむことに加え、健康の維持や増進、強い精神力の育成、他者と協働する力の涵養などさまざまな効用があります。さらに、地域振興に活用する事例にも事欠きませんし、社会的な問題を解決する機会を提供する可能性も少なくありません。来年の東京オリンピック・パラリンピックも、日本から世界に向けて様々なメッセージを発信するまたとない機会になることでしょう。

こうしたスポーツの持つ可能性をいかして、将来の途を切り開き、社会や地域に貢献しようという若者たちを育てることが私たちの願いです。ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



### スポーツ科学部の開設に向けて

スポーツ科学部 学部長予定者 吉野 貴順

4年の歳月を費やし、スポーツを愛した故・山崎善久前理事長の遺志を受継ぎ、心を込めて準備してきた「スポーツ科学部」の設置について、この度、文部科学大臣より正式に認可がなされました。我々は、記念すべき2020年東京オリンピック・パラリンピックの年の4月に船出するこのスポーツ

なったという次第です。

#### —スポーツ科学部の目指す教育—

さて、駿河台大学スポーツ科学部の教育目標を一言で言うならば、「スポーツ科学に関連する諸領域の学びを通じて、社会人基礎力(人間力)を備えたスポーツ人を養成すること」です。そして、「学校、行政、地域および企業などのスポーツに関連する領域において、指導力、企画運営力、問題発見・解決力などを発揮できる人材」の養成を目指します。そのため、「スポーツ健康」「スポーツ教育」「地域スポーツ」という3つの柱を立てました。学生は、2年次の秋学期以降、この3つの柱の何れかを中心に据えて系統的に学びを深めていくことになります。

一方で、1年次～2年次春学期にかけては、非常に多くの必修科目が設定されています。これは、全ての学生が、共通の土台としてスポーツ科学の諸領域に関する基礎的知識と基礎的実技能力を身につけるためです。その上で学生は、自らの意思と興味・関心に応じて、また将来の進路を見据えううえで、より専門的な科目を学んでいくことになります。

さらに、1年次春学期に必修で配置されている「チームビルディング」という科目は、本学部を特徴付ける科目といえます。この科目は、1泊2日の「プロジェクトアドベンチャー研修合宿」と隔週で開講される「集団行動実技」とで構成され、自分とは異なる考え方や経験を有する仲間と共同して課題を克服していく経験を通じて、コミュニケーション能力を養い、社会で通用する人間力の基礎を身につけることを意図した科目です。

今後、新学部の学生募集や教務業務が本格化します。どうか、ご支援ください。

科学部の準備を、さらに加速させるべく決意を新たにしたところです。

#### —スポーツ科学部設置の経緯—

スポーツ科学部は、現在ある現代文化学部をルーツとし、そのDNAを受け継いで発展的に作られる学部です。「現代文化学部がスポーツ科学部に？」この変化を唐突に感じる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、実は現代文化学部内には既に2009年度から「スポーツ文化コース」が設けられ、スポーツ文化やスポーツ科学に関わる教育を行い、中学校および高等学校の保健体育教員の養成をはじめとして、スポーツに関連する各種資格取得にも取り組んできました。また、近年は、学部在籍生の7～8割がスポーツを学ぶことを志す学生であるという状況が続いていました。そこで、現代文化学部における丁寧な教養教育とスポーツに関わる専門教育の実績を基礎とし、我々が有する人的・物的資源を広い意味でのスポーツ科学に集中させ、従来に増して充実したスポーツ教育に取り組むことに

### 講演会『地域とスポーツ —スポーツの可能性—』のご案内

駿河台大学地域創生研究センター主催による地域創生プログラムの講演会を以下の通り開催します。入場無料・申込不要(先着順)ですので、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

#### ■開催概要

日時：2019年10月26日(土) 14:45～16:55(開場14:30)  
会場：駿河台大学飯能キャンパス 講義棟4階3405教室  
主催：駿河台大学地域創生研究センター

#### ■プログラム

##### 第一部 《基調講演(50分) 14:45～15:35》

『地域とスポーツ —スポーツの可能性—』

講演者：岡部 素明(NPO法人飯能市体育協会会長、飯能市スポーツ推進審議会会長、駿河台大学客員教授)

##### 第二部 《パネルディスカッション(80分) 15:35～16:55》

『飯能市のスポーツビジョンを考える』

コーディネーター：時本 識資(駿河台大学教授)

パネリスト：今井 直己(飯能市教育委員会教育長)

：田部井進也((株)タベイプランニング代表取締役、(一社)田部井淳子基金代表理事)

：平井 純子(駿河台大学教授、飯能市エコツーリズム推進協議会会長、飯能市農業委員会委員)

：田畑 亨(流通経済大学准教授、茨城県龍ヶ崎市のスポーツ推進委員)

これまでのスポーツの価値と機能を踏まえ、今日の少子高齢化、地方の人口減少、地域活性化等の社会状況から、スポーツを考える。また、これまでの勝ち負けに特化した非日常としてのスポーツから日常の延長線上に位置づくスポーツのあり方を模索する。とりわけ、人口8万人の飯能市をモデルとして、スポーツのあり方の方向性を考える。

駿河 これまでスポーツが果たしてきた役割や機能を踏まえ、今後の飯能市にお人工けるスポーツのあり方について考える。

【お問い合わせ】 駿河台大学 地域連携課 〒357-8555 飯能市阿須698 TEL. 042-972-1181 (9:00～17:00 土・日・祝日を除く)

# 第33回 駿輝祭開催 10月26日(土)・27日(日)

ミニオープンキャンパス (13:00～15:30) も同時開催!

第33回駿輝祭が10月26日(土)・27日(日)の2日間にわたり両日10:00より開催されます。  
各種イベントの詳細については、駿輝祭当日に配布されるパンフレットにてご確認ください。

26(土)

## 同窓会・父母会共催 北野大氏講演会「北野家の訓え」

(会場) 第二講義棟4階 7405教室  
(時間) 13:00～14:30  
(その他) 入場無料、申込不要(先着順)



### ●プロフィール

秋草学園短期大学学長／淑徳大学名誉教授／工学博士  
専攻：環境化学・安全学  
昭和17年 東京都足立区生まれ。  
昭和40年 明治大学工学部卒業。  
昭和47年 東京都立大学大学院工学研究科工業化学専攻博士課程修了。  
分析化学で博士号を取得。  
(財)化学品検査協会(現：(財)化学物質評価研究機構)・企画管理部長、淑徳大学  
教授、明治大学理工学部応用化学科教授などを経て、平成29年4月より現職。  
経済産業省・化学物質審議会委員、環境省・中央環境審議会委員を歴任。  
平成16年に日本分析化学会・技術功績賞、平成18年に環境科学会・学会賞、  
平成20年に環境大臣表彰(環境功労者)を受賞。  
タレント・ビートたけしさん(映画監督・北野武氏)の実兄。  
主な著書：『いまだに、たけしの兄です』(主婦と生活社)、『ドクター北野の地球  
なんでも好奇心』(NHK出版)、『北野家の訓え』(PHP研究所)、『北野大vsビ  
ートたけしの新環境文化論』(あ・うん)

26(土)

## 同窓会主催 ホームカミングデー懇親会

(会場) 第二講義棟15階 スカイラウンジ  
(時間) 15:00～16:30  
(その他) 会費無料

同窓会では、駿輝祭初日に同窓会・父母会共催の講演会と、  
同窓会が主催するホームカミングデー懇親会を行います。  
講演会終了後、引き続き懐かしい同窓生や教職員との懇談  
を楽しんでいただければと思います。  
卒業生の皆様、この機会に是非、ご家族やお友達をお誘い  
合わせの上、母校に遊びにいらしてください!



26(土)

## 桜田 通 トークショー

(会場) 体育館2階アリーナ  
(優先券配布)  
11:00～  
(開場) 13:00～  
(開演) 14:00～  
(その他) 入場無料、  
自由席



映画「君の隣にいたい」や、連続ドラマ「クズの本懐」  
などで知られる俳優、桜田 通さん  
によるトークショーです。

26(土)

## お楽しみ ステージ

(会場)  
晴天時：屋外特設ステージ  
雨天時：屋内特設ステージ  
(時間)  
14:00～15:30

参加者一体型のゲーム大会  
です。「〇×クイズ大会」や  
「ビンゴ大会」を実施予定。  
景品もありますのでぜひご  
参加ください。

26(土)

## 卒業生フォローアップ・キャリアセミナー ～20歳代のキャリアの課題や作り方～

(会場) キャリアセンター集合  
(時間) 10:30～12:00  
(講師) 梅村慶嗣准教授  
(対象) 概ね卒業後5年以内くらいまでの  
卒業生

(その他) 申込不要、服装自由  
～卒業生の皆さんへ～  
働く「大変さ」や「楽しさ」を社会人になっ  
た皆さんと共有し、改めて「社会人のキャ  
リア」について考えます。

27(日)

## 駿大 DANCE CONTEST

(会場) 体育館2階アリーナ  
(開場) 14:15～  
(開演) 14:30～  
(審査員) Taabow, Fumiya  
(from DRESS\_SING)

(その他) 自由席  
大学部門、高校部門に分かれ  
て部門優勝を目指すダンスコ  
ンテストイベントです。若者た  
ちの雄姿を是非ご覧ください。

27(日)

## 爆笑 お笑いライブ

(会場)  
晴天時：屋外特設ステージ  
雨天時：屋内特設ステージ  
(時間)  
17:00～(※駿輝祭フィナーレ内)

今年のお笑いライブは駿輝祭フィナ  
ーレにて、田畑藤本、はんにゃの2  
組が登場します。お楽しみに!  
※出演者は変更になる場合があります。  
予めご了承ください。



27(日)

## ヒーローショー 忍者烈風

(会場)  
第二講義棟4階7405教室  
(第一公演)  
開場 11:00～  
開演 11:30～  
(第二公演)  
開場 14:00～  
開演 14:30～  
(各公演1時間前後を予定)

武蔵忍法伝 忍者烈風によるヒーローショ  
ーを開催。



## 駿大味王グランプリ 2019

(会場) 中庭  
26日(土) 12:30～13:00 (模擬店紹介)  
27日(日) 駿輝祭フィナーレ内(表彰式)  
駿輝祭おなじみ! 駿輝祭に出店している  
全模擬店を対象に投票を行い、模擬店  
ナンバー1を決める企画です。投票権が  
あるのは駿輝祭に来場された皆様全員  
です!  
味王の栄冠を手にするのはどの模擬店  
でしょうか? 皆様の1票をお待ちして  
います。

ほかにもゼミ展示やフリーマーケットなどさまざまな企画をご用意しています。詳しくは駿輝祭ホームページをご覧ください。  
QRコードからもご確認ください。皆様のお越しをお待ちしています!  
※企画・出演者は変更になる場合があります。予めご了承ください。



# 「秋の公開講座」実施中！



本学は、毎年どなたでも受講できる公開講座を実施しています。  
今回は、学生スタッフとして講座の運営を支えているメディア情報学部4年の阿部萌々子さん（山村学園高校出身）に紹介してもらいます。



秋の公開講座が9月28日(土)に始まりました。  
「彩・ふるさと喜楽学」(後期)の初回は、元日本代表で本学ラグビー部の松尾勝博監督が「ラグビーW杯を楽しもう！」と題してラグビーの起源やルール、ワールドカップの歴史や裏話などを試合の映像を交えて講演し、現役部員による簡単な実演も行いました。

駿大の公開講座の特徴は、座学だけではなく、キャンパスに隣接している加治丘陵を歩いたり、敷地内の裏山(駿大の里山)で集めたツルでリースを作ったりするなど、大学の自然を活かした実技型の講座も実施していることです。詳細は、メディアセンターなどに配架しているパンフレットを確認してください。大学ホームページでも見ることができます。

また、**現役学生の私たちや卒業生は**、「彩・ふるさと喜楽学」や「市民の大学」を**無料で**受講できます。

秋の講座は、12月21日(土)まで予定されています。ぜひご参加ください！



駿大の公開講座について詳しく知りたい方はこちらからアクセス！



## お申込み・お問い合わせ

申込方法：メールまたは電話でお申込みください。

※申込講座名、氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、性別、生年月日をお知らせください。

お問い合わせ：駿河台大学 地域連携課

〒357-8555 飯能市阿須698 TEL. 042-972-1181 (9:00~17:00 土・日・祝日を除く)

E-mail : univext@surugadai.ac.jp

## 2019年度

### ティーチャー・アワード受賞者のご紹介

駿河台大学では、2019年度より、教育・研究・社会貢献活動等において顕著な業績を挙げた本学の学部及びセンター所属教員に対し、従前の「プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞」に代わり「ティーチャー・アワード」を授与することとなりました。

今年度は、以下の6名の専任教員が、本学への多大な貢献が評価され、受賞となりました。



所属	氏名(職名)	専門分野	主な業績
法学部	たけうち けんご 竹内 健互 (准教授)	刑法学・刑事訴訟法学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「学生防犯リーダー」の実施責任者</li> <li>●「公務員・資格試験学習室」の室長</li> <li>●公務員指導システムの再構築</li> </ul>
経済経営学部	おざわ のぶみつ 小澤 伸光 (教授)	経営学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実務家特任教授との協同</li> <li>●「夢ナビ」(公開講義)の担当</li> <li>●地域企業と連携した授業の実施</li> </ul>
メディア情報学部	きむ きほん 金 基弘 (准教授)	芸術工学(音響)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●研究活動実績</li> <li>●学会活動貢献賞受賞</li> </ul>
現代文化学部	ひらい じゅんこ 平井 純子 (教授)	地理学・観光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際シンポジウムにおける講演</li> <li>●飯能市エコツーリズム推進協議会会長の歴任など、地域への貢献</li> </ul>
心理学部	すぎもと ひではる 杉本 英晴 (准教授)	心理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●研究活動実績</li> <li>●学外活動への積極的な参加による学生指導</li> </ul>
情報処理教育センター	うちだ 内田いづみ (講師)	教育工学 情報リテラシー教育 アクティブ・ラーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICTを活用した授業改善とアクティブ・ラーニングの実践</li> <li>●情報処理教育センター学習相談窓口件数の増加へ貢献</li> <li>●資格試験合格支援</li> </ul>

【お問い合わせ】 駿河台大学 学務企画課 TEL. 042-972-1141 E-mail : gakumu@surugadai.ac.jp

## 3年生は秋学期の就職行事を活用しよう！

### 就職活動準備の基本は木曜3限で押さえよう！

春学期に引き続き、秋学期も就職活動の準備は木曜3限を中心にしています。現3年生の就職活動はオリンピックと重なることから、例年とは異なる企業の動きが予想されます。これから秋・冬インターシップが始まり、3月には公に就職情報が解禁されるという流れの中で、企業から求められる視点を伝えていきます。講師には、採用の裏側を知る専門家やその道のプロをお招きするので、普段の授業とは違った刺激を得ることができます。

### 木曜3限に学んだことを土曜の講座で深めよう！

木曜3限で触れる「SPI」「履歴書」「面接」「グループディスカッション」をより深く理解するための講座を土曜日に開講します。「SPI秋期講習」は、就職活動の代表的な筆記試験であるSPIの解き方を解説する講座です。「就活トレーニング実践①②」では、参加学生が実際に自己PRを考え、それに対して専門講師がアドバイスをします。「就活トレーニング実践③」では、グループディスカッションの進め方を学び、実際に体験します。

### 業界の生の話が聞けるイベントも開催！

「学内業界研究セミナー」は、志望企業を見つけるために必要となる仕事への理解を深められるイベントです。各業界を代表する企業の方々をお招きし、業界・職種・企業・採用試験などについて直接話を聞くことができます。どの業界に興味があるのかわからない場合でも、知識を広げることで新たな気づきを得ることができます。

### その他にも様々な行事を開催予定！！

毎年学生から大好評の「パーフェクト対策講座」は、就職情報が解禁される3月を目前とする2月に開催します。「自己理解」「業界・企業研究」「履歴書」「マナー」「面接」「グループディスカッション」など、就職活動に必要なスキルをさらにブラッシュアップできます。

10月 3日	就職ガイダンス④
10月17日	就活トレーニング基礎①
10月24日	就活トレーニング基礎②
10月31日	就活トレーニング基礎③
11月 7日	就職ガイダンス⑤
11月14日	就活トレーニング基礎④
11月21日	就活トレーニング基礎⑤
11月28日	就活トレーニング基礎⑥
12月12日	就職ガイダンス⑥

11月 2日	SPI 秋期講習
11月 9日	
11月16日	
11月30日	就活トレーニング実践①② (履歴書ブラッシュアップ・面接練習)
12月 7日	
12月14日	就活トレーニング実践③ (グループディスカッション体験)
12月21日	

12月 5日	学内業界研究セミナー
12月19日	



「できなかった」を「できる」に近づけるためのプログラムを組んでいますので、少しずつ自信をつけることができます。木曜3限講座よりも講師との距離が近いので、これまでの疑問を解消するのに絶好のチャンスとなります。

## 個別相談で皆さんの就職活動をバックアップ！

### 悩んだら気軽に相談してください！

キャリアセンターでは、ゼミ毎に就職活動をサポートする「担当アドバイザー」を配置しています。

「自己分析ができない」「何がしたいのかわからなくなってきた」といった漠然とした悩みから、「履歴書を添削してほしい」「面接の練習をしてほしい」といった具体的な要望など、これからの皆さんの就職活動をサポートしていきます。ひとりで悩まず担当アドバイザーと相談しながら進めていきましょう。

10月～11月 ゼミ訪問	担当アドバイザーがゼミを訪問します！ 担当の紹介と連絡先の交換をします。
11月～1月 インテーク面談	1対1で面談をします。 皆さんの学生生活のこと、進路のこと、就職活動のこと、いろいろ話をしましょう！
1月～ 就職相談	就職活動を進めるうちに相談をしたくなったら、いつでも自由に相談に来てください。 ※事前予約制です。

# 就職活動豆知識コーナー

現3年生の就職活動でひとつポイントとなるのは「オリンピック」です。2020年7月24日(金)の開会式以後、企業が採用を絞るのか、継続して採用を行うのか全くわからないというのが現状です。そのため「今わかっていること」を整理し、どう動くのが重要になってきます。ここでは、現状わかっている就職活動の流れを整理します。

## 就職活動の流れ



秋・冬にかけて行われる企業によるインターンシップは、「1day」などの短期インターンシップが多くなります。表向きには語られま

せんが選考を意識している企業もありますので、その後特別なオフアアがかかることもあります。この時期のインターンシップは社会性を身につけるとい意味でも重要で、内定を取りたい企業以外でも構わないので参加することをおすすめします。

3月になると就職情報サイトが「インターンシップ情報」から「就職情報」に変わります。企業にエントリーすると履歴書などの書類審査や筆記試験、グループディスカッション・面接などの選考を経て内定を得ることが出来ます。これらの選考を突破するためには事前の準備が必要となるため、3月になってから活動を始めるというのでは出遅れてしまうことになります。そのための対策がキャリアセンターで実施する「就職行事」であり、「個別相談」となりますので、積極的に活用してください。



## メディアセンターより

# from the Media Center

## さらに快適なネットワーク環境に！ ～次世代Wi-Fi環境と10Gbps回線導入～

メディアセンターでは、2019年9月の秋学期授業開始に合わせて、学内ネットワーク環境の改修を行いました。今回の改修では、高度なサイバー攻撃を防ぐためのセキュリティ装置を導入し、一般企業レベルの情報セキュリティ環境を実現しています。また、次世代の高速無線LAN規格である「Wi-Fi 6」対応アクセスポイントを教育機関として早く導入したことに加えて、中庭や陸上競技場だけではなくテニスコートやホッケー場、野球場にもアクセスポイントを増設し、これまで以上に快適なWi-Fi環境が利用できるようになりました。

さらに、国立情報学研究所(NII)が構築・運用している学術情報ネットワーク「SINET」※に加入し、インターネット通信速度は今までの最大1Gbpsから10Gbpsに向上しました。

駿河台大学では高速且つ信頼性の高いWi-Fi環境及びインターネット接続環境の提供により、学生・教職員の学修・研究環境の充実に努めています。

※SINET...Science Information NETwork (サイネット) 教育・研究に携わる数多くの人々のコミュニティ形成を支援し、多岐にわたる学術情報の流通促進を図るため、全国にノード(ネットワークの接続拠点)を設置し、大学、研究機関等に対して先進的なネットワークを提供しています。

(学術情報ネットワーク SINET5 (<https://www.sinet.ad.jp/aboutsinet>)より抜粋)



## English Speech Contest が開催されました！

第3回English Speech Contest (グローバル教育センター主催) が、7月17日(水)の3限に行われました。今回は、日本、中国、ネパールと、多彩な国々出身の学生3名がコンテストに挑戦し、英語という「共通語」を用いて、それぞれの日ごころ温めている思いを力強く主張しました。会場となったAVホール(7404教室)には、80人を超える学生、教職員が集まり、挑戦者の英語によるスピーチに聞き入りました。

栄えある「1st Prize」(最優秀賞)には、中国出身のLIU ZHUO(リュウ・タク、経済経営学部3年)さんが輝きました。LIUさんは、大学入学後に自分自身に起こった困難な出来事について、過去の温かな思い出を糧に、明るく乗り切ろうとする気持ちを、詩情豊かに表現しての受賞となりました。

「Runner-up」(優秀賞)は、ネパール出身のSHRESTHA SAJAN(シュレスタ・サザン、メディア情報学部3年)さんが受賞。「教育は世界を変える力をもつ」というテーマで、教育に対する信頼や、日本で学んだことを活かして母国ネパールの教育や社会の発展に貢献したいという熱い思いを披露しました。

山本竜玄(やまもと・たつや、心理学部2年)さんは、日本人にはなぜ、iPhoneユーザーが多いのかということ、多彩なデータをもとに意見をまとめ、「Finalist」(決勝戦出場者)として表彰されました。

1st Prize受賞者のLIU ZHUOさん、Runner-up受賞者のSHRESTHA SAJANさんから感想を寄せてもらいましたので、紹介します。



経済経営学部3年 リュウ タク  
中国出身 LIU ZHUO



実は、私は英語が苦手だが、映画に興味があって、特にアメリカやイギリスの映画をよく見る。素晴らしい台詞があった時には、メモをして学んでいるほどだ。映画の中の人物のように、きれいな発音で台詞を喋れるようになったら、楽しくてカッコイイと思う。暇な時には、英語で日記を書くこともある。しかしチャンスがあれば、みんなの前で英語を話して練習する方がいいと思う。書くだけではなく、学ぶだけでなく、話すことだ。自分ができないと思うことにチャレンジするから、成功するのだと思う。

今回話した内容は、日本に来た後、この4年間にあった一番難しかったことを話した。大人になった私は、そのことを理性的に解決できるので、それを物語風にして、自分の感想と難しさを伝えた。私は感性が豊かなので、理論的に話すより、友達に悩みを相談するように、自分が思ったまま話そうにした。それは感性的な人の特徴なのかもしれない。

初めて英語でのスピーチコンテストに参加して、受賞できて本当に意外だった。先生と友達の激励があったからこそ、私はずっとやってくる事ができた。ありがとうございました。

メディア情報学部3年 シュレスタ サザン  
ネパール出身 SHRESTHA SAJAN



私は、今回の英語スピーチコンテストに初めて出場し、受賞することができてとても嬉しかったです。実は、今回のスピーチコンテストに参加した理由は、自分の英語の能力をもっと伸ばしたかったからです。私は人の前に出て発表するとき、とても緊張します。

しかし、今回のスピーチコンテストでは自分なりに最後まで頑張ることができたと思います。英語担当の先生方に指導を受けながら、たくさんのアドバイスを頂いたことで、より良いスピーチをすることができました。また自分の意見を英語で大勢の人々に伝えられたことは、私にとって貴重な経験になったと同時に大きな自信が持てたよい機会となりました。そして初めて賞を頂くことができたので、何事も諦めないことが大切だと思いました。これからもこの経験を活かして、もっと英語を頑張りたいです。

## 学内で開催されている外国語スピーチコンテスト

駿河台大学では、English Speech Contestのほかにも年に3回、外国語で挑戦するスピーチコンテストがあります。使用言語も様々、団体で出場できたり、学外からの挑戦者を受け付けていたり、出場要件も多種多様なコンテストを紹介します。

### ドイツ語暗唱大会

今年で28回を数える、駿河台大学でもっとも歴史のある大会。3分程度のドイツ文を暗記して発表する。発音や暗記の程度などが評価される。今年度は10月19日(土)に開催。

毎年、北は北海道から南は沖縄まで、ドイツ語を学んでいる他大学の学生や、独習を続ける社会人など学外からの挑戦も多数受け入れている。大会後のドイツ人審査員との交流も魅力のひとつ。



### 外国語プレゼン大会

(International Speech Contest)

今年で7回目を迎える。駿河台大学で学べる言語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語、日本語)で発表する。個人参加、グループ参加いずれも可能。個人でプレゼンをしたり、グループでスキットを発表したり、毎年様々な工夫がみられる。

今年度は、12月18日(水)に開催。出場エントリーは11月15日(金)まで。



### 日本語スピーチコンテスト

今年で24回目を迎える。外国人留学生が対象。「日本人は冷たいけど冷たくない」「美しい地球環境を守りましょう」など、毎年自由なテーマで個性あふれるスピーチが見られる。留学生の発表は、毎年日本人が見落としがちで新鮮な気づきにあふれている。日本人学生の観覧も大歓迎。

今年度は2020年1月15日(水)に開催。出場エントリーは12月4日(水)まで。





## 若林康太選手、世界陸上日本代表に選出!!

本学陸上競技部に所属する若林康太選手（現代文化学部4年・新潟産業大学附属高校出身）が、9月27日（金）～10月6日（日）にかけて行われた第17回世界陸上競技選手権大会（以下世界陸上）の代表選手に選出されました。

今年度は、4月に行われた第23回アジア陸上競技選手権大会にて混合4×400mRで3位（1走・3分20秒29）、男子4×400mRで優勝（4走・3分2秒94）を果たし、その結果を受け出場したIAAF世界リレー2019横浜大会では4位入賞（4走・3分3秒24）という結果を残しています。

先日は日本代表候補選手が集う公開合宿にも参加し、世界陸上に向けて着実に力をつけてきた若林選手。その様子が日本陸上競技連盟のHPにも掲載されています。QRコードよりご覧ください。（日本陸上競技連盟公式サイトに接続されます）

若林選手は、9月28日（土）に混合4×400mR、10月5日（土）に男子4×400mRに出場しました。結果は駿大スポーツのHPにて公開しております。ぜひご覧ください。



## オータムミーティングが開催されました

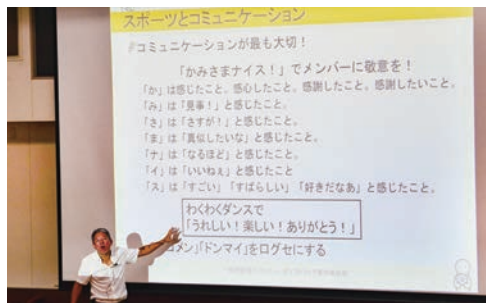
9月18日（水）、毎年恒例で行われているオータムミーティングが開催されました。

オータムミーティングは、年に2回（春には「スプリングミーティング」という同様のイベントが行われています）、運動部に所属する学生全員が参加し、外部講師による今後の活動に役立つ講演を受けるイベントです。

現在スポーツ公認団体に所属する学生は約800名。本学で一番大きな教室を使ってようやく収まるほどです。普段はそれぞれの活動に進む部員が一堂に会し、意識していくべきこと、目標へ向かって全力で取り組んでいるということと共有できる機会は大変貴重です。



今回の講演は、一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会くぼたゆたかで専務理事を務められている久保田裕氏より、「スポーツにおける情報リテラシー」という題目で講演を行って頂きました。



講演では、SNSを主としたインターネット全盛における現在、インターネットへの書き込み等を行う際に「これを言ったら相手は何を思うか」という想像力を働かせること、必要な情報と不要な情報を見分けて取捨選択をし、不要な争いに身を投じない方法を学んでいくことの必要性を熱く語っていただきました。

また、現代の学生はスマートフォンと共に過ごす時間が非常に増加している傾向にある中、スマートフォンから時には少し距離を置くことの大切さ、またSNSを使用する際には、間違った使い方をしてしまった時に一体何が起るのかを実際の法律等から触れ、SNSのリスクを考えるきっかけを与えていただきました。

スポーツにおけるコミュニケーションという観点から、チーム内でポジティブな感情をシェアしていくことの大切さを伝えるため、会場みんなで「うれしい！たのしい！ありがとう！」という言葉と歌を唱和するなど、会場を盛り上げていただきました（講演会を受け、「うれしい！たのしい！ありがとう！」を試合前に実践した部もあったようです）。

総じて、インターネット上でのモラルは人と人とのコミュニケーションが根幹にあり、インターネットを正しく利用する方法を学ぶことはスポーツにおいても良いチーム関係を築いていくうえで必要な想像力を養う助けになるということと学ぶ機会となりました。

また、ミーティング最後には各部の代表より今季の抱負が語られました。

各部活動が、それぞれ目指す目標を共有しあうことによってお互いを鼓舞しあえる大切な機会となっています。

今回は、その中の一部をご紹介します。



### 駅伝部

この夏は3回に分けて合宿を行い、例年以上にいい仕上がりで、箱根駅伝予選会に向けての流れを作ることができました。予選会当日は、出走メンバーだけでなく、チーム一丸となって戦っていきます。

### 女子ホッケー部

春は学生リーグ、大学王座決定戦共に悔しい結果で終わってしまいましたが、今季は部の目標である関東制覇、そして日本一を獲ってチームみんなが笑顔で終われるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。

### サッカー部

春はリーグ戦を1位で終えることができました。残りの試合は全てに勝利し、1部昇格を決めたいと思います。

### ハンドボール部(女子)

現在（9月18日）、秋季リーグも4試合を終え、残り3試合となりました。ブロック内に残留できるよう、チーム一丸となって戦っていきます。応援よろしくをお願いします。